

インターネット証券初！ 米国ETF 10月19日より取扱い開始 ～中国ETFも同時に取扱い開始～

楽天グループのインターネット・トレーディング専門の証券会社、楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都港区）は、10月19日（木）国内約定分より、海外ETF（海外株価指数連動型上場投資信託）の取扱いを開始いたします。

楽天証券はネット証券における外国株式取引サービスのパイオニアとして、1999年12月より米国株式（現在541銘柄）、2003年2月より中国株式（現在190銘柄）の取引を提供しております。今回の追加は、米国ETF2銘柄と中国ETF2銘柄の合計4銘柄となります。

なお、米国株式ETFにつきましては、インターネット証券初の取扱いとなります。楽天証券では、今後も個人投資家の幅広いニーズに応えるべく、取扱商品のラインナップを充実してまいります。

目的・狙い

昨今の米国株式市場は、NYダウ工業株30種平均が過去最高値を更新するなど、底堅く推移しています。一方、国内では中高年を中心に資産運用ニーズが盛り上がり、国内外の株式や債券への投資や、それらに幅広く分散投資する投資信託が人気を博しています。

しかしながら、国際分散投資型の投資信託は、手数料などのコストが一般的に高い、また、基準価額でしか買付・解約申込みを行えない等の理由により、かねてより、海外ETFの取扱いについて投資家から多くの要望が寄せられておりました。このような投資家の国際的な分散投資やポートフォリオの多様化ニーズに応えるべく、このたび、米国株式の主要指標であるS&P500、ナスダック100および、香港市場のハンセン指数、H株指数といった個人投資家に認知度が高い指数に連動するETFを取扱うこととしました。

海外ETFとは

海外ETFは、各種株価指数に連動することを目的として運用される株式投資信託で、通常外国株式と同じように売買が可能です。一般の投資信託の場合は、その日の基準価額でしか買付・解約申込みを行なうことができませんが、海外ETFの最大のメリットは「株価指数に連動することを目的に運用されているというわかりやすさ」や「分散投資のメリット」を備えつつ、通常外国株式と同じように市場での【指値注文】が可能な点です。

新規取扱銘柄

【米国】

ティッカー	ETF 名称	市場	連動対象指数
IVV	I-Shares S&P500 Index Fund	NYSE	S&P500
QQQQ	NASDAQ 100 Trust Series1	NASDAQ	ナスダック 100

【中国】

コード	ETF 名称	市場	連動対象指数
2800	Tracker Fund of Hong Kong	香港	ハンセン
2828	Hang Seng H - Share Index ETF	香港	ハンセンH株

参考データ：S&P 500 の推移（2006年5月22日～10月11日）

